

# 2023年12月期 第2四半期 決算説明資料

2023年8月  
サンデン株式会社

# 目次

## 成長に向けた活動の進捗

1. 事業再生計画の進捗
2. 成長に向けた好循環サイクルの実現
3. 将来に向けた取り組み

## 2023年 12月期 第2四半期 決算実績

1. 決算のポイント
2. 連結決算要約
3. 自動車機器セグメント地域別売上高
4. 営業利益増減分析（前年差異）
5. 営業キャッシュフロー（前年差異）
6. 連結貸借対照表（前年差異）

# 1. 事業再生計画の進捗

## 事業再生計画の概要

2021年5月、金融機関様にご同意いただいた事業再生計画に基づき、事業再構築のための各施策に取り組んでおります。

**事業再生計画期間** : 2026年3月31日まで（事業再生計画の計画期間の終了日）

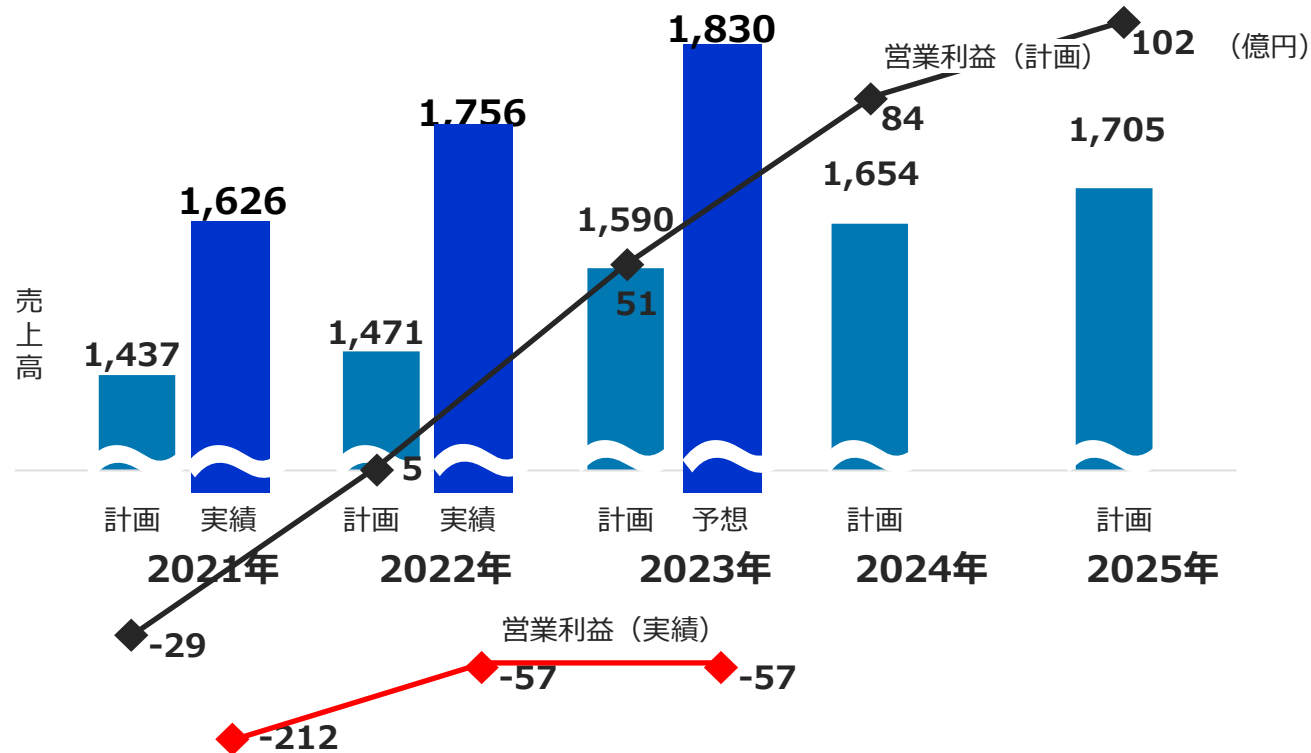
**経営計画目標数値** : 2026年3月期 売上高：1,705億円 営業利益：102億円

### 事業再構築のための施策

5つの 改革 プラン	1	生産体制の抜本的見直し
	2	基盤収益力の向上
	3	積極的な「協創」による成長
	4	キャッシュフロー創出施策の強化
	5	実行のための仕組み改革

## 1. 事業再生計画の進捗

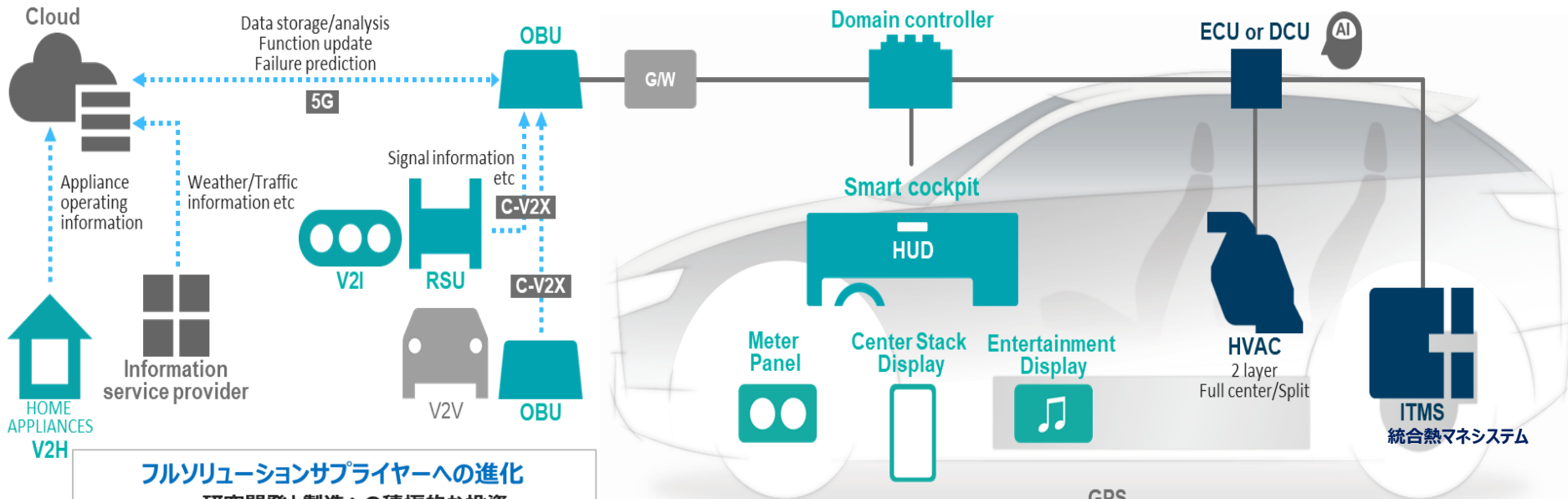
計画は4月から3月の12ヶ月 実績は1月から12月



## 2. 成長に向けた好循環サイクルの実現

※	2022/1-6月	2023/1-6月	
<b>将来新規商権獲得</b>	910億円	1880億円	<b>2倍 (前年比)</b>
◆既存顧客：中国エリア（ローカル顧客/グローバル顧客）			
◆新規顧客：スタートアップEVメーカー & 大手農機具メーカー			
◆主要獲得エリア：中国、欧州			
◆主要獲得製品：電動コンプレッサー、ECH、HVAC メカニカルコンプレッサー（シェアアップ）など			
※1-6月に獲得した商権の生涯売上の合計 案件ごとにSOPから生涯にわたって得られる売上高の総額			
<b>研究開発費用</b> (成長投資費用)	26億円 33億円	33億円 50億円	<b>+27% (前年比)</b> <b>+52% (前年比)</b>
<b>有形固定資産取得による支出</b>	27億円	41億円	<b>1.5倍 (前年比)</b>

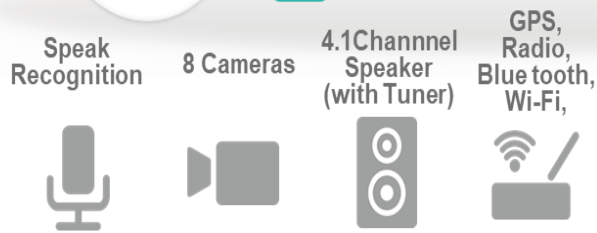
### 3. 将来に向けた取り組み



#### フルソリューションサプライヤーへの進化 研究開発と製造への積極的な投資

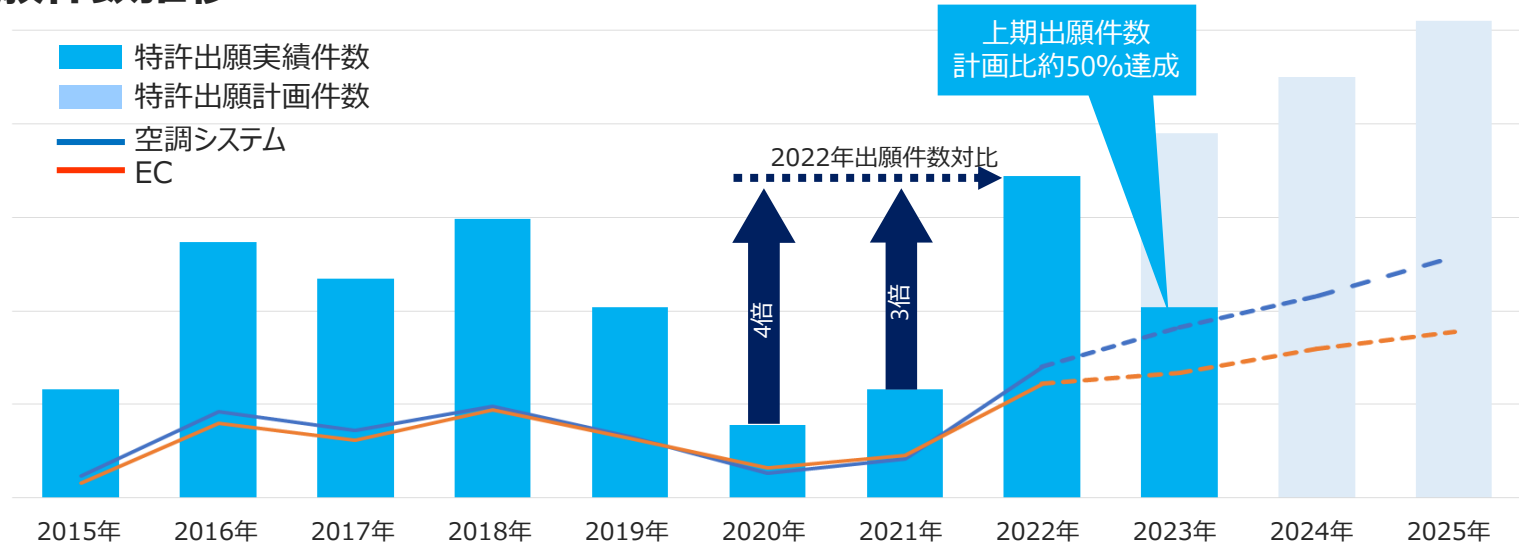
コンプレッサー	熱マネジメントシステム	ハイセンスコックピット	ハイセンスV2X
PX/SDVプラットフォームをアップグレード	ITMSをアップグレード	Hisense Smart Drive	V2X
5つの新しいECプラットフォームを開発	航路制御 向上	タOUCH-UP高画質 レーダー射撃画面	クラウド V2X
1000V EC	高効率システム	ハイセンスIMAC	
800V EC	ヒートアンペアのアップグレード	無線電波 射撃画面	
New model EC		ペーパーレス ディスプレイ	
New model AC		EV充電モジュール化	

P5



## 3. 将来に向けた取り組み

## 特許出願件数推移



- 今年CY23上期も継続して出願実施。(計画比49%の出願実績)
- CY22出願件数増加率：CY20比4倍(441%)、CY21比3倍(297%)
- 今後の成長の軸となる空調システムとEC関係の出願率は全体の76%を占める。  
空調システム：CY20比5倍(538%)、CY21比3倍(333%)、EC：CY20比4倍(381%)、CY21比3倍(265%)

### 3. 将来に向けた取り組み

## 製品技術ロードマップ（統合熱マネジメントシステム）



Product	Direction	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
ITMS	1. High efficiency 2. Comfort 3. Modularization 4. Intelligence	<b>ITMS 2.0</b>  BATT thermal management Waste heat recovery	 Feature: • Unique dehumidification Heating Function to save energy all year around • Easy installation • Highly integrated	<b>ITMS 3.0</b>  Integrated thermal management Coolant loop centralized control	 Feature: • Highly integrated • Good heating capacity • More energy saving • Compatible with different Refrigerant cost improvement vs ITMS 2.0.	 Feature: • Networking • Intelligence	<b>SMART CABIN &amp; NEXT ITMS</b>  Feature: • Personal comfort • Enjoyable	 Feature: • Networking • Intelligence	 Feature: • Personal comfort • Enjoyable
		1. Modular Tech 2. Natural Refri. System 3. Hotgas Tech 4. MBD Tech 5. Intelligence control Tech	 <b>High AEER</b> Refrigerant Valve integrated module Tech	 <b>Industry No.1</b> Hot Gas Tech	 Refrigerant Unit integrated module Tech	 Coolant module Tech	 Intelligence control Tech	 Unique HP dehumidify heating Tech	 Heat exchanger for Natural Refrigerant system



# 目次

## 成長に向けた活動の進捗

1. 事業再生計画の進捗
2. 成長に向けた好循環サイクルの実現
3. 将来に向けた取り組み

## 2023年 12月期 第2四半期 決算実績

1. 決算のポイント
2. 連結決算要約
3. 自動車機器セグメント地域別売上高
4. 営業利益増減分析（前年差異）
5. 営業キャッシュフロー（前年差異）
6. 連結貸借対照表（前年差異）

# 1. 決算のポイント

1

売上高は、前年同期比 51億円の増収(+6.2%)。為替除くと6億円の増収(+0.7%)  
各地域の車両生産台数が前年同期比で回復したことに加え、為替影響も寄与。  
欧州はトラック向けの市場伸長を取り込み、アジアではインド市場の伸長も、アジア地域全体としては横ばいとなっており、他地域も含め微増収。

2

営業利益は、前年同期比 10億円の減益。  
主に販売商品構成の悪化を、原価低減や生産性の向上を始めとした  
改善施策に加え、為替のプラス影響でカバーしましたが、積極的に成長開発投資をしたことによる。  
しかしながら、当期純利益は16億円の増益。長期債権の一部回収による引当金の戻しが寄与。

3

営業キャッシュフローは44億円の黒字。混乱が続いていたサプライチェーンの立て直しによる在庫削減が寄与。  
しかしながら、欧州では、顧客、部品メーカー双方の半導体不足は継続見込。  
一方、グローバルで金融不安が燦っており、各国中銀による政策により落ち着きを取り戻している中、  
金融機関破綻等による車両販売影響を注視する必要がある。

## 2. 連結決算要約

[単位：億円]

項目	2022年度 2022年1月～6月	2023年度 2023年1月～6月	対前年同期		2022年度 2022年 4月～6月	2023年度 2023年 4月～6月	対前年同期		
			差異	増減率			差異	増減率	
売上高	824	875	51	6.2%	416	447	31	7.5%	
営業利益	△35	△44	△10	△27.7%	△25	△28	△3	△12.8%	
経常利益	△16	△10	6	36.9%	△21	△10	11	52.7%	
親会社株式に帰属する当期純利益	△19	△3	16	83.4%	△23	△8	15	65.3%	
為替	US\$	123円	135円	12円		129円	137円	8円	
	EUR	134円	146円	11円		138円	149円	11円	

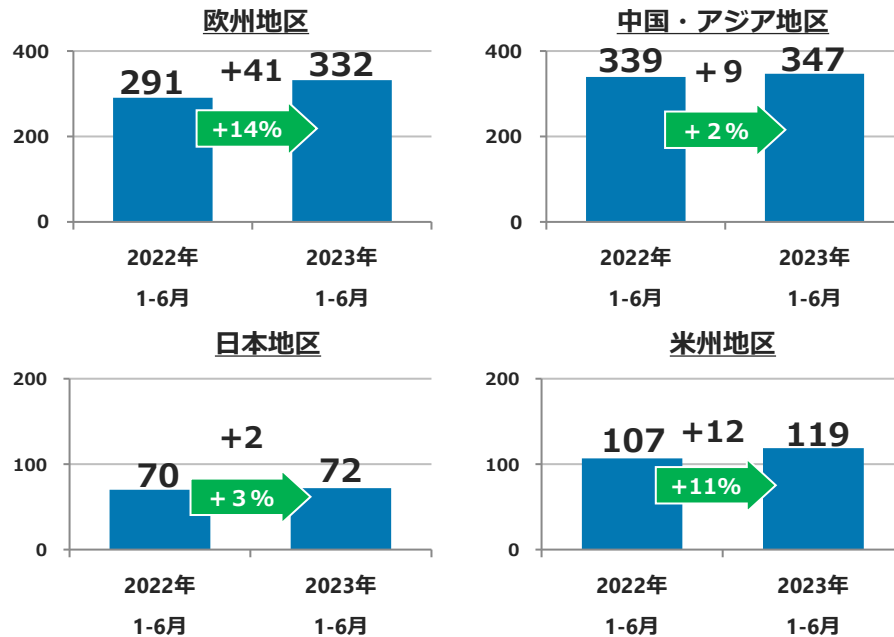
\*為替レート：市場平均レート

### 3. 自動車機器セグメント 地域別売上高

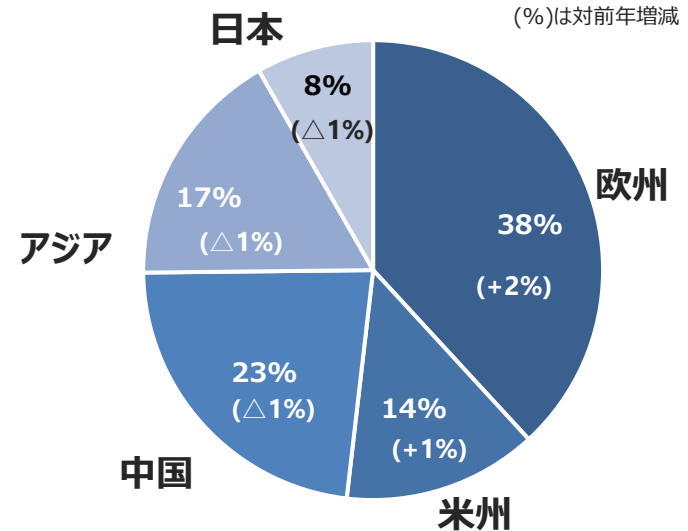
**売上高 870億円 +63億円（前年比+8%）**

（内、為替影響+45）

■ **地域別売上高** [単位：億円]



■ **構成**



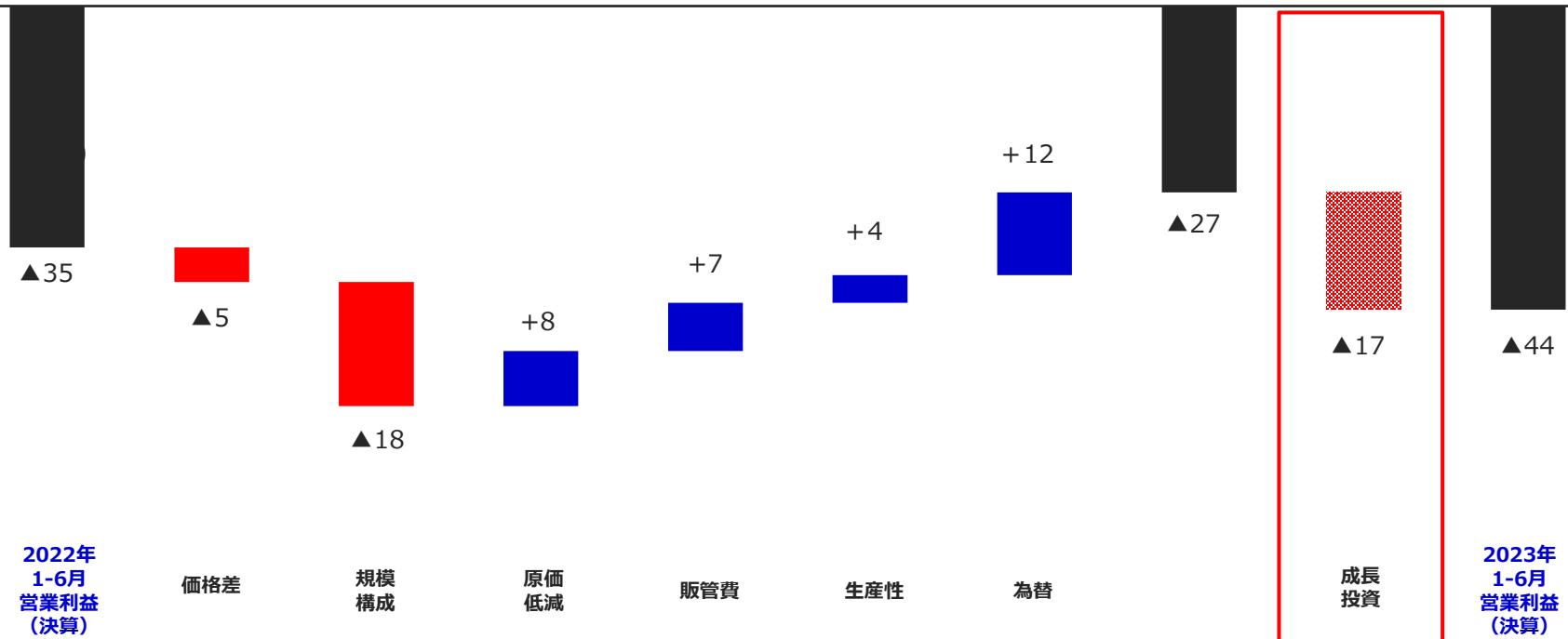
## 4. 営業利益増減分析（前年差異）

単位：億円

## 前年22年1-6月比較

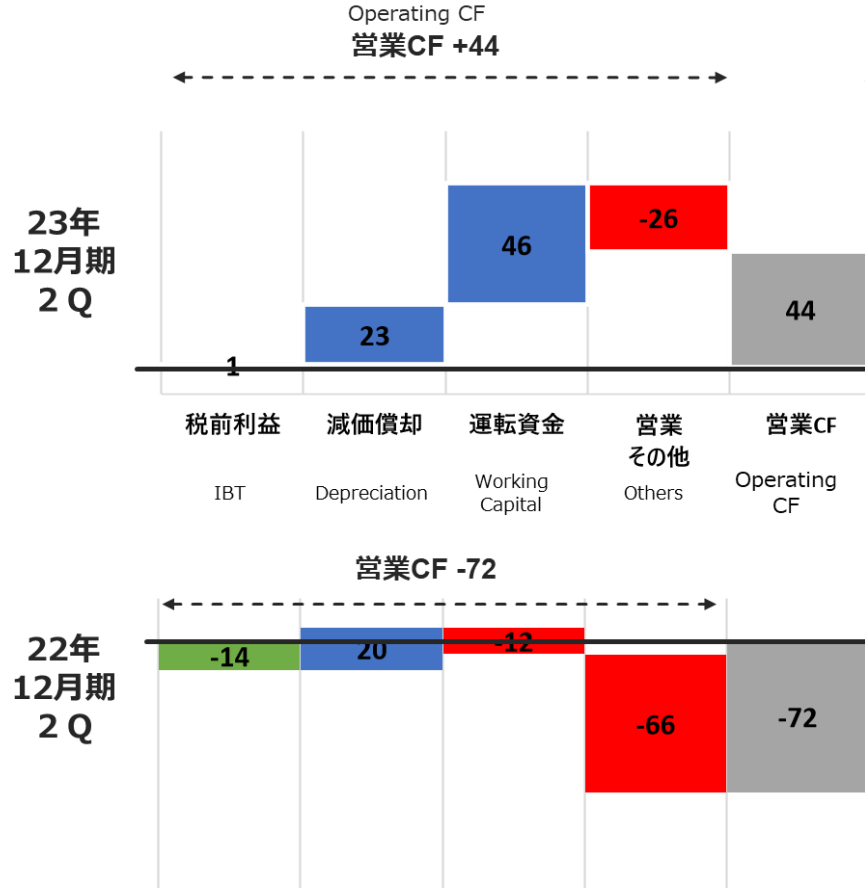
	前年	当年	差異
売上高	824	875	+51
営業利益	-35	-44	-10

- 電動コンプ製品の年次値下げ及び、構成悪化(AFM向け減 ECEモデル入替) による収益力悪化
- 原価低減に加え、物流費、経費等販管費の削減も、R&D費用等、成長に不可欠な人材への継続的な成長投資の実施



## 5. 営業キャッシュフロー（前年差異）

[単位：億円]



## 営業キャッシュフロー黒字化

前年比 116億円の改善  
→資金効率化 +83

基礎資金 +26

税前利益 +13

減価償却 + 3

運転資金 +58

債権 +31

在庫 +35

債務 - 8

その他 +41

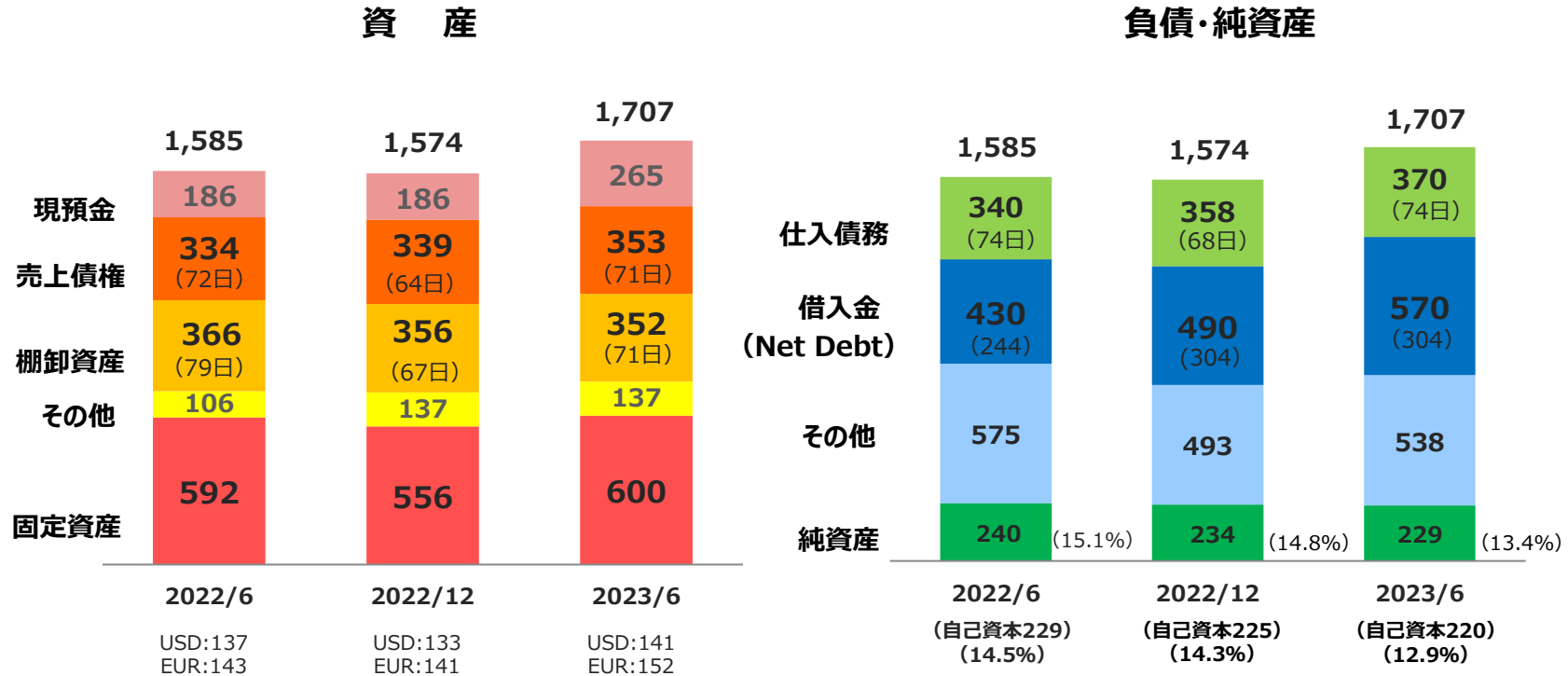
未収未払 +25

非資金 +16

## 6. 連結貸借対照表（前年差異）

\*日数：期末残高／(直近3ヶ月の売上高/90)

[単位：億円]



Team Work Build for  
**100+ year Company**



当社は、2023年7月30日 創立80周年を迎えました。

今年、我々は“ One Team, One Sanden ” 一丸となって新たな出発点に立ちます。

顧客のためになる良い製品を作り出し、100年以上続く国際企業として再出発します。

ご質問・お問い合わせは Mail :sdhd.prcsr.jp@g-sanden.comまでお願いいたします。